

# 磨 赤兒 大駱駝艦と パラダイスを語る



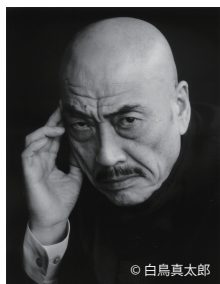
© 川島浩之

2019年1月29日(火)  
14:00 ~ 15:00

会場 神戸文化ホール多目的室  
ゲスト 磨 赤兒  
入場料 500 円 (要事前申込 定員 30 名)

※申込方法 お名前と電話番号と参加人数を明記の上、メールまたは FAX でお申し込みください。  
Mail: kobebunkahall@kobe-bunka.jp FAX: 078-351-3121  
※「パラダイス」公演のチケットをご持参いただいた方は無料でご入場いただけます。当日ご参加の方には、公演チケット 500 円割引券を配布いたします。

## 磨 赤兒 Maro Akaji



© 白鳥真太郎

1943 年生まれ、奈良県出身。唐十郎との運命的な出会いにより、劇団「状況劇場」に参加。役者として活動しながら 1966 年より舞踏家の土芳異に師事。唐の「特権的肉体論」を具現化する役者として、1960～1970 年代の演劇界に大きな変革の嵐を起こす。1972 年に舞踏集団「大駱駝艦 (だいらくだかん)」を旗揚げし、舞踏に大仕掛けを用いた圧倒的スペクタクル性の強い様式を導入、海外公演でも大きな話題となる。精力的に振付・演出・上演を行い、毎年国内外に向けて新作を発表し続ける一方で、役者としても独特の存在感を放っている。  
2006 年度文化庁長官表彰受賞  
2013 年ダンスフォーラム賞・大賞受賞  
2016 年 東京新聞制定「第 64 回舞踊芸術賞」受賞  
2018 年 第一回種田山頭火賞受賞

舞踏ムーブメントを牽引してきた大駱駝艦 19 年ぶりの神戸公演に先立ち、磨赤兒氏によるトークイベントを開催します。「パラダイス」公演がより楽しめる“公演鑑賞の手引き”を中心に、かつては、「暗黒」舞踏と呼ばれた舞踏とはいったい何なのか、活動写真を交えながら語っていただきます。

大駱駝艦・天賦典式「パラダイス」  
日時 2019 年 3 月 30 日 (土) 15:00 開演 (14:30 開場)  
会場 神戸文化ホール 中ホール  
料金 一般 4,000 円  
学生 1,500 円 (税込・全席指定・当日各 500 円増)



アクセス  
神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車すぐ○阪神・阪急・山陽電車「高速神戸」駅より北へ徒歩 8 分○JR「神戸」駅より北へ徒歩 10 分  
〒650-0017  
神戸市中央区楠町 4 丁目 2-2

主催：(公財) 神戸市民文化振興財団 神戸文化ホール 助成：芸術文化振興基金助成事業

問い合わせ先：(公財) 神戸市民文化振興財団 神戸文化ホール TEL：078-351-3535 (土・日・祝を除く 9:00～17:00)

神戸文化ホール